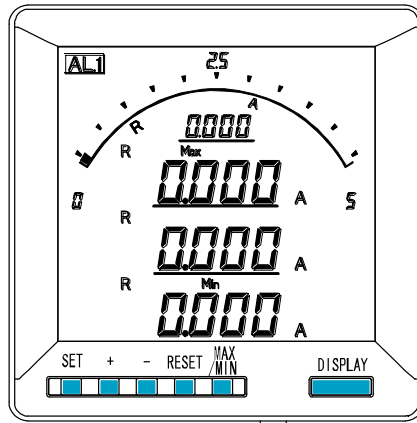



電子式マルチメータ  
XSA2-110シリーズ  
取扱説明書  
(拡張操作編)



 ご注意

- ◇本体は精密機器ですので、落とさないようにして下さい。
- ◇本体を分解、改造はしないで下さい。
- ◇本体に雨水等が直接かからないようにして下さい。  
本体の汚れ・ホコリ等を拭きとる場合は、乾いた布で拭きとって下さい。  
汚れがひどい場合は、固く絞った濡れ雑巾で拭きとって下さい。  
ベンジン・アルコール・シンナーは絶対に使用しないで下さい。
- ◇本体内にゴミ等が入る恐れがある作業を行なう場合は、本体にカバーをして異物が入らないようにして下さい。
- ◇本体を直射日光が当たる場所、温度の異常に高い場所・異常に低い場所、湿気や塵埃の多い場所へ設置しないで下さい。
- ◇端子台への配線は圧着端子を使用して確実に締めて下さい。
- ◇最大入力電流値以上の入力を加えないで下さい。
- ◇補助電源が停電時は表示は消え、出力が0になります。
- ◇活線状態では端子部に手を触れないで下さい。感電の危険性が有ります。
- ◇活線状態ではCT 2次側からの入力線は、決してオープン(開放)にしないように注意して下さい。  
オープンにするとCT 2次側に高電圧が発生しCTを破損する原因となります。
- ◇電流入力端子のL側はアースに接地するようにして下さい。
- ◇本説明書には、オプション機能(御発注時の選択機能)もあわせて説明しています。搭載していない機能は設定無効または、設定できませんので、御考慮いただきお読みいただきますようお願いいたします。
- ◇製品、及び、説明書は、改善・改良のために予告なく変更する場合があります。御了承願います。

## 目 次

|                                                 |   |
|-------------------------------------------------|---|
| 【1】 設定項目一覧 .....                                | 3 |
| 【2】 表示関係の設定方法 .....                             | 4 |
| 【3】 警報出力関係の設定方法（オプションで警報出力付を選択した場合に表示します） ..... | 6 |
| 【4】 バーグラフ（最大目盛）関係の設定方法 .....                    | 8 |

## 【1】 設定項目一覧

[SET]+[-]キー長押しで設定モードに切り替わります。

設定モードに切り替わりますとLCD表示の上に番号を表示しています。(設定モード最初はS11 (表示511))

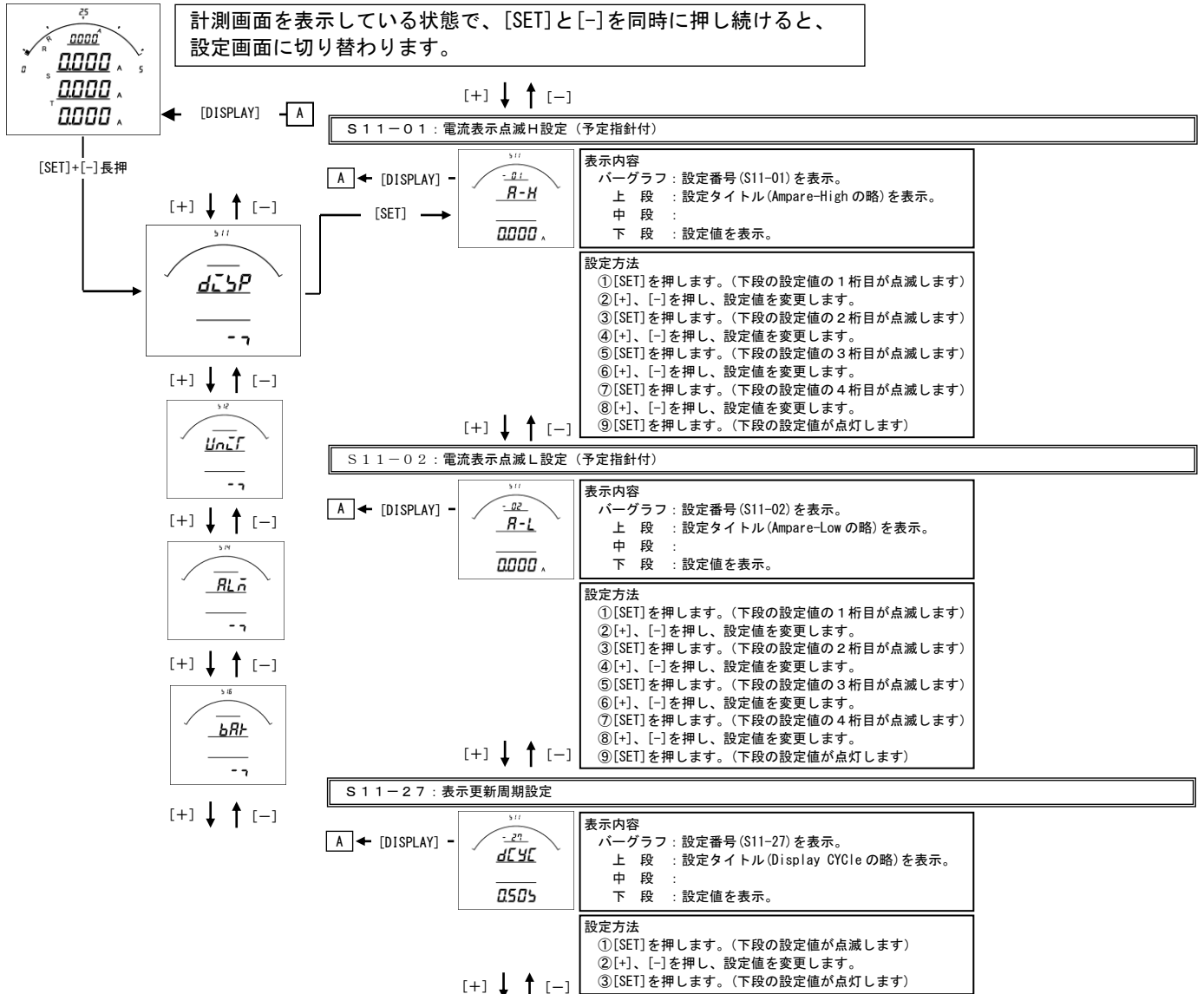
[+], [-]キーを押すとS12、S13、・・・、S16に変更できます。

次に[SET]キーを押すことにより、設定項目の表示に切り替わります。(例、S11-01 (表示511-01))

ここで、[+], [-]キーを押しますとS11-01、・・・、S11-27に変更できます。

| 設定番号   | 設定項目             | 初期値       | 記載頁 |
|--------|------------------|-----------|-----|
| S11-01 | 電流表示点減H (予定指針付)  | 0 (機能除外)  | 4P  |
| S11-02 | 電流表示点減L (予定指針付)  | 0 (機能除外)  | 4P  |
| S11-27 | 表示更新周期           | 0.5 秒     | 4P  |
| S14-01 | 警報出力 チャンネル1 上下限  | HI (上限警報) | 6P  |
| S14-02 | 警報出力 チャンネル1 ディレイ | 0         | 6P  |
| S14-03 | 警報出力 チャンネル1 復帰方法 | AUTO (自動) | 6P  |
| S16-01 | バーグラフ 電流 最大目盛    | 0 (機能除外)  | 8P  |

## 【2】表示関係の設定方法



#### **S 1 1 - 0 1. 電流表示点滅（予定指針付）H設定について**

- ・電流の計測値がこの設定値以上になると、電流のバーグラフ・デジタル表示が点滅します。
- ・設定は一次側で設定します。また、0 Aに設定すると点滅機能は除外（点滅しない）になります。
- ・電流をバーグラフ表示した場合は、設定値を点滅表示します。  
（設定値がバーグラフの範囲外になる場合は点滅表示しません）
- ・CT一次側定格値を変更すると、この設定は0にリセットされます。
- ・設定値は各桁、”1”ずつ変化させて行ってください。
- ・定格の0%～120%の範囲で、一次側の値で設定できます。

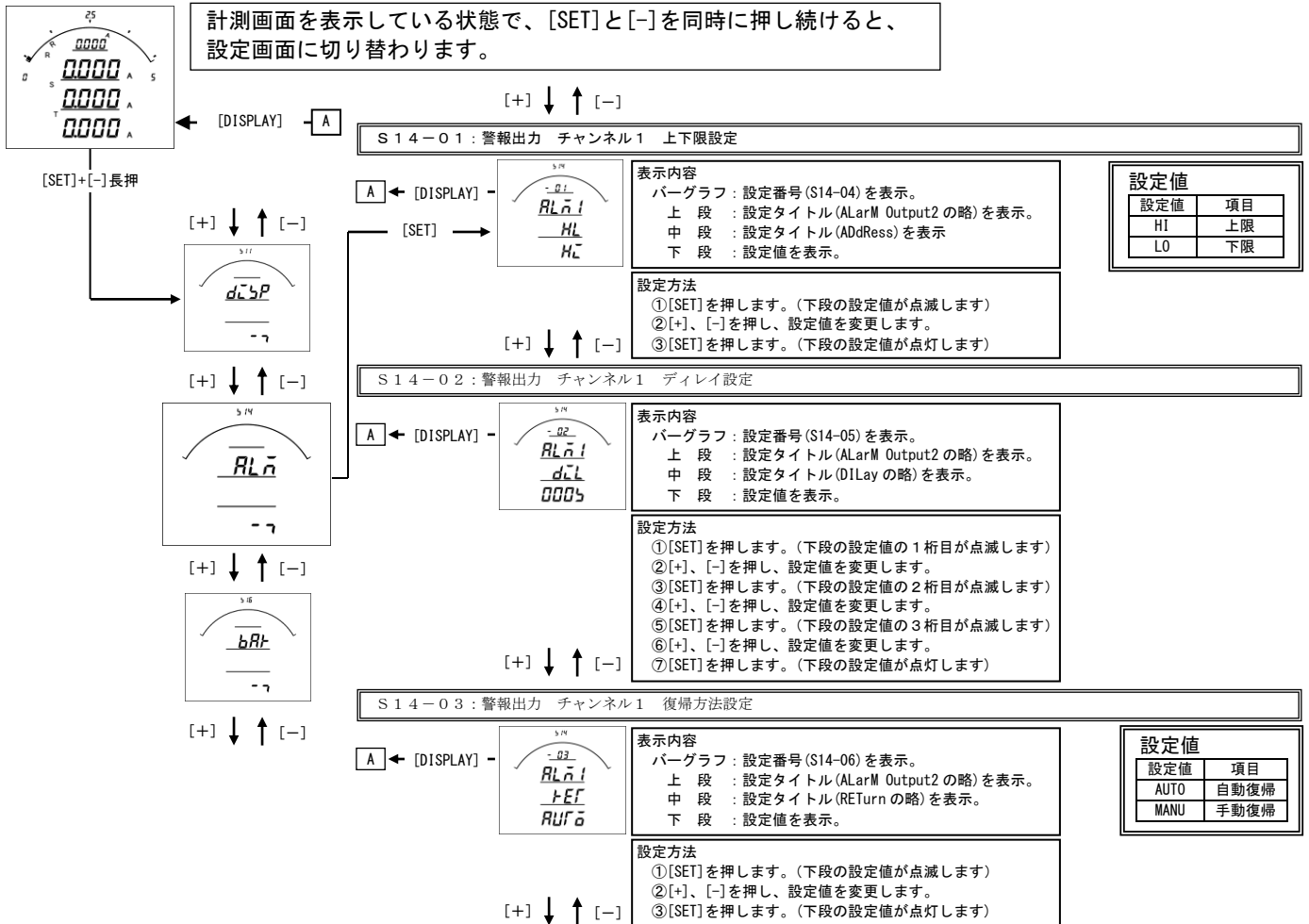
#### **S 1 1 - 0 2. 電流表示点滅（予定指針付）L設定について**

- ・電流の計測値がこの設定値以下になると、電流のバーグラフ・デジタル表示が点滅します。
- ・設定は一次側で設定します。また、0 Aに設定すると点滅機能は除外（点滅しない）になります。
- ・電流をバーグラフ表示した場合は、設定値を点滅表示します。  
（設定値がバーグラフの範囲外になる場合は点滅表示しません）
- ・CT一次側定格値を変更すると、この設定は0にリセットされます。
- ・設定値は各桁、”1”ずつ変化させて行ってください。
- ・定格の0%～120%の範囲で、一次側の値で設定できます。

#### **S 1 1 - 2 7. 表示更新周期設定について**

- ・表示更新周期を設定します。
- ・設定された周期で計測値が更新されます。
- ・設定は0.25秒～2.00秒の範囲で0.25秒単位で可能です

### [3] 警報出力関係の設定方法（オプションで警報出力付を選択した場合に表示します）



#### **S 1 4 - 0 1 . 上下限設定について**

警報の動作を設定します。

設定を上限 (HI) に設定すると、計測値が設定値以上になった場合警報出力します。

設定を下限 (LO) に設定すると、計測値が設定値以下になった場合警報出力します。

出荷時は上限 (HI) に設定されています。

#### **S 1 4 - 0 2 . ディレイ設定について**

警報出力のディレイ (遅れ時間) を設定します。

計測値がディレイ設定時間以上連続して設定値以上 (以下) になると警報出力します。

設定値は各桁、" 1 " ずつ変化させて行ってください。

0 秒 ~ 3 0 0 秒の範囲で設定できます。

#### **S 1 4 - 0 6 . 復帰方法について**

警報出力の復帰方法を設定します。

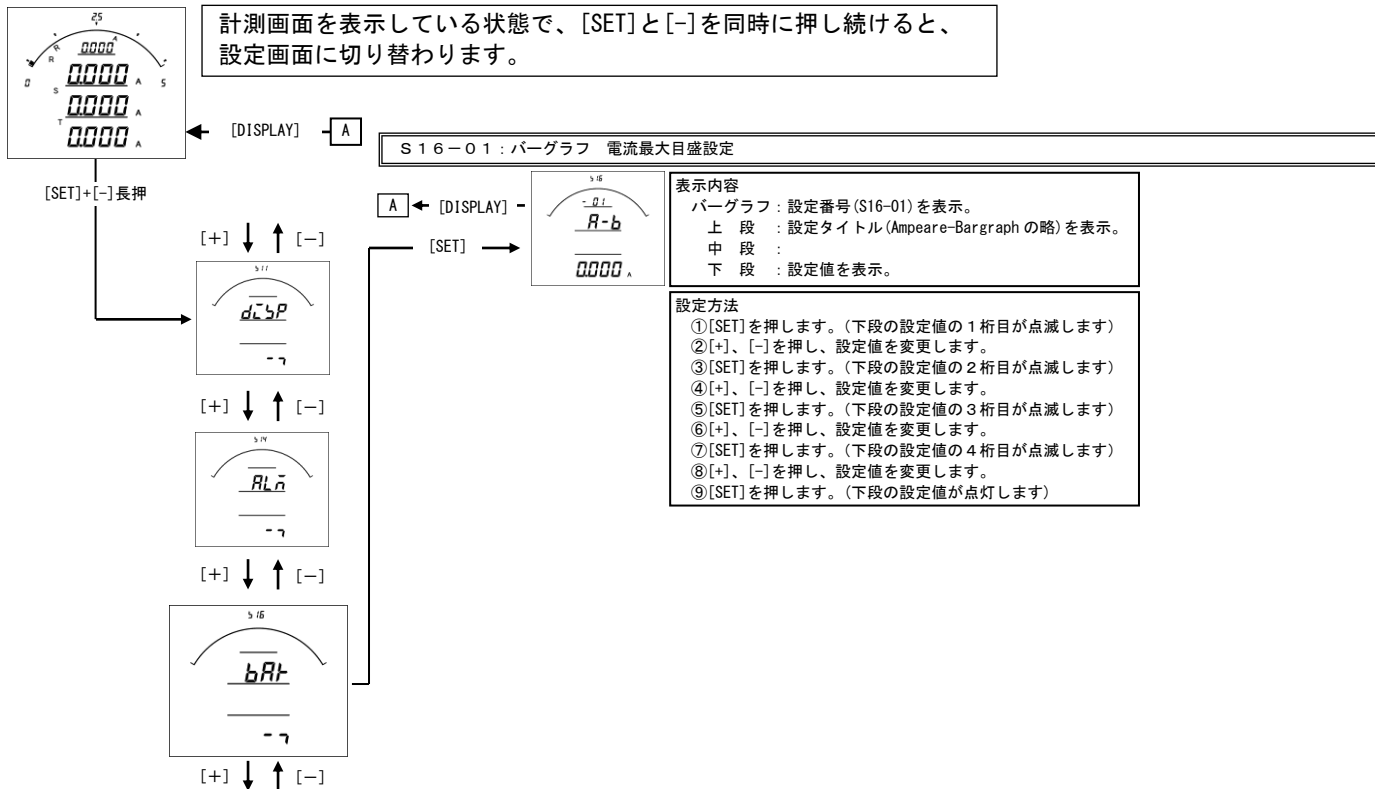
自動 (AUTO) に設定すると計測値が設定値未満 (超える) になると警報出力を OFF にします。

手動 (MANU) に設定すると計測値が設定値未満 (超える) になっても警報出力を OFF にしません。

警報出力を OFF にするには、「RESET」キーを約 1 秒間すと、OFF になります。

出荷時は自動に設定されています。

#### 【4】 バーグラフ（最大目盛）関係の設定方法





#### S 1 6 - 0 1 . パーグラフ 電流最大目盛設定

電流のパーグラフ目盛の最大値を設定します。

設定値は各桁、” 1 ”ずつ変化させて行ってください。

定格の 0 % ~ 1 2 0 % の範囲で、一次側の値で設定します。

0 設定の場合、設定した C T 比が最大目盛となります。(機能除外)

※設定の下限は設けていませんが、小さな数値を設定すると、正常に目盛が表示されない場合があります。

※設定出来る桁数は 4 桁までです。C T 比によっては 1 2 0 % まで設定できない場合があります。

品質・性能向上のため、記載内容はお断りなく変更することがありますので、ご了承下さい。

## ハカルプラス 株式会社

URL [www.hakaru.jp](http://www.hakaru.jp)

本社・工場 〒532-0027 大阪市淀川区田川3-5-11  
TEL 06(6300)2112  
FAX 06(6308)7766